

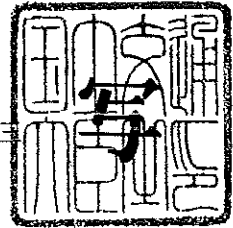


認定書

国住指第1116号
平成 18年 10月 19日

田中サッシュ工業株式会社
代表取締役 東田 誠之 様

国土交通大臣 冬柴 鐵三



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第68条の26第1項(同法第88条第1項において準用する場合を含む。)の規定に基づき、同法施行令第112条第14項第二号(防火設備の作動性能等)の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
CAS-0307
 2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称
耐熱板ガラス入鋼製開き戸(準耐火構造壁・床付き)
 3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容
別添の通り
- (注意)この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

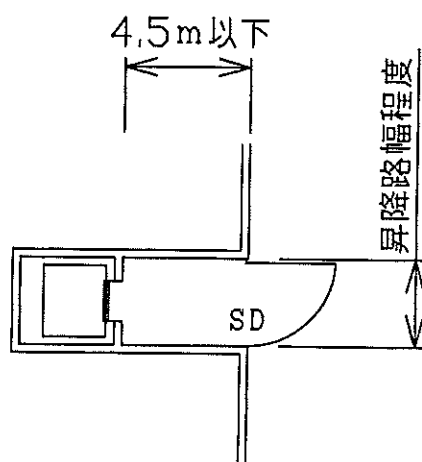
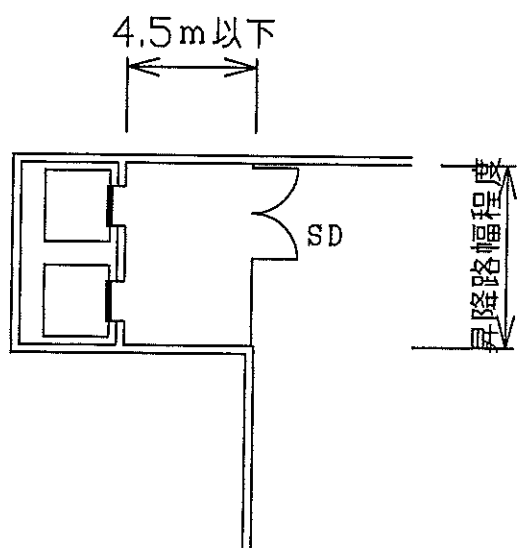
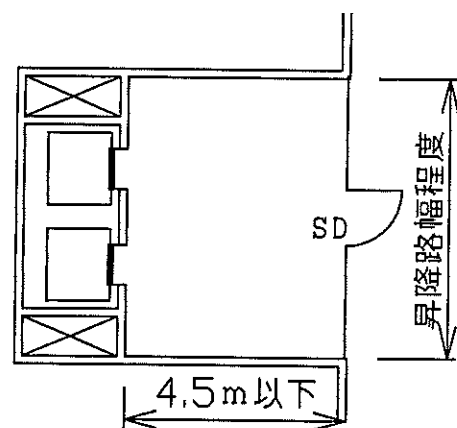
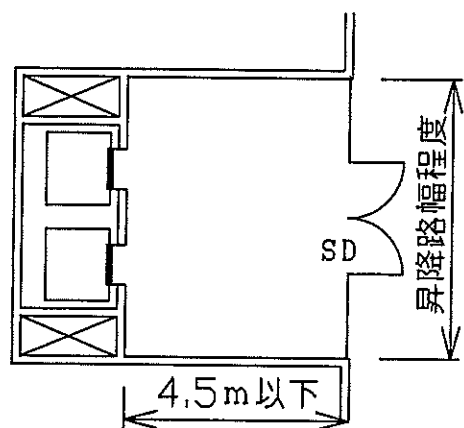
耐熱板ガラス入鋼製開き戸（準耐火構造壁・床付き）

2. 構成：

本申請に係る仕様の構成等は、以下の通りとする。

- (1) エレベーター乗り場戸は、平成12年建設省告示第1369号に規定する特定防火設備又は平成12年建設省告示第1360号に規定する防火設備とする（遮炎性）。
 - (2) 耐熱板ガラス入鋼製開き戸は、建築基準法施行令第112条第1項に基づく国土交通大臣認定を受けた特定防火設備とする（遮炎性）。
 - (3) 耐熱板ガラス入鋼製開き戸は、片開き戸又は両開き戸とし、欄間又は袖窓若しくはこれらの両方が付いているものも含むものとする。
 - (4) 壁及び床は準耐火構造とする。
 - (5) 外気に向かって開くことができる窓及び排煙設備の排煙口にあつては、これを(4)の壁又は天井に設けることができる。
 - (6) 当仕様を構成する空間の内装の仕上げは準不燃材料とする。
 - (7) 当仕様を構成する空間の幅は昇降路の幅に、柱、はり、パイプスペース等平面計画上必要とするものを加えた最小限の幅とする。
 - (8) 当仕様を構成する空間の奥行きは、可動の乗降の空間の場合で0.3m以上1.0m程度、対面式のエレベーターのあるロビーの場合で6m以下、前記以外の場合で4.5m以下とする。
 - (9) (7)及び(8)における幅及び奥行きは、非常用エレベーターの避難階における乗降ロビーにあつては、消防隊の活動に必要な大きさとすることができる。
 - (10) エレベーター1列の台数は、6台までとする。
 - (11) 煙感知器は、消防法（昭和23年法律第186号）第21条の2第1項の規定による検定に合格したものとす。
 - (12) 連動制御器は、以下の要件を満足するものとする。
 - (1) 煙感知器又は熱煙複合式感知器から信号を受けた場合に自動閉鎖装置に起動指示を与えるもので、随時、制御の監視ができるもの。
 - (2) 火災による熱により機能に支障をきたすおそれがなく、かつ、維持管理が容易に行えるもの。
 - (3) 連動制御器に用いる電気配線及び電線が、次に定めるものであるもの。
 - (i) 昭和45年建設省告示第1829号第二号及び第三号に定める基準によるもの。
 - (ii) 常用の電源の電気配線は、他の電気回路（電源に接続する部分及び消防法施行令（昭和36年政令第37号）第7条第3項第一号に規定する自動火災報知設備の中継器又は受信機に接続する部分を除く。）に接続しないもので、かつ、配電盤又は分電盤の階別主開閉器の電源側で分岐しているもの。
 - (13) 自動閉鎖装置は、以下の要件を満足するものとする。
 - (1) 連動制御器から起動指示を受けた場合に耐熱板ガラス入鋼製開き戸を自動的に閉鎖させるもの。
 - (2) 自動閉鎖装置に用いる電気配線及び電線が、上記(12)の(3)に定めるものであるもの。
 - (14) 予備電源は、昭和45年建設省告示第1829号第四号に定める基準によるものであること。
 - (15) 本仕様を用いられる気密材については、使用頻度等により所要の性能が損なわれる恐れがある為、十分維持保全を行うものとする。
 - (16) 当該防火設備内に物品が置かれると、所要の性能が損なわれる恐れがある為、十分維持管理を行うものとする。
 - (17) 耐熱板ガラス入鋼製開き戸を避難の用に供する部分に使用する場合には、扉の開放力をハンドル部分で50N以下とする。
- 申請仕様の空間配置図を図1～3に示す。

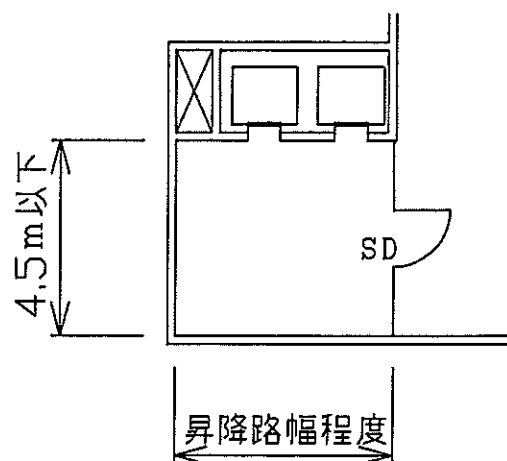
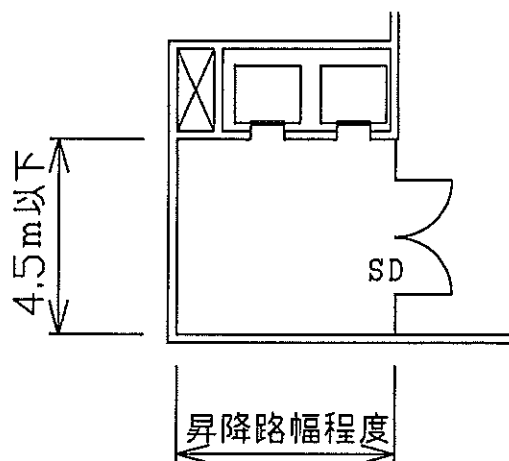
設置場所 (1)-1 乗降ロビ-を設ける場合(乗場戸の正面に防火設備)



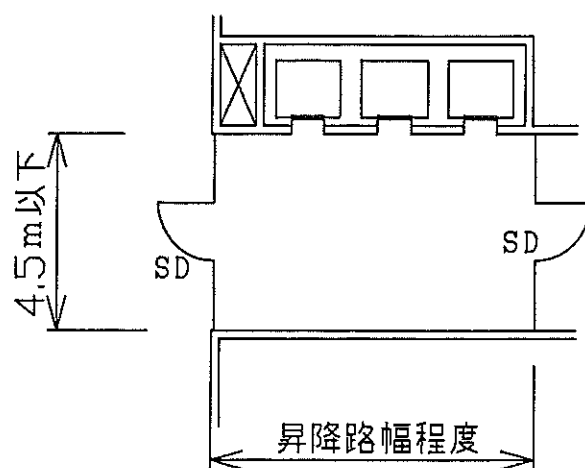
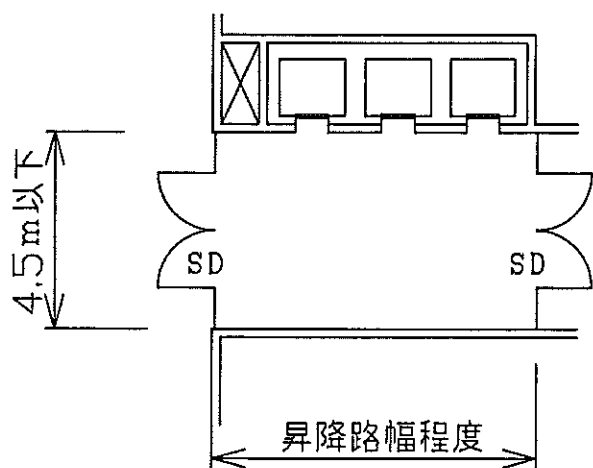
SD : 耐熱板ガラス入り鋼製開き戸
 区画に面する壁、床 : 準耐火構造

図1 空間配置図

設置場所(1)-2乗降ロビ-を設ける場合(エレベータ-一列。防火設備片側)



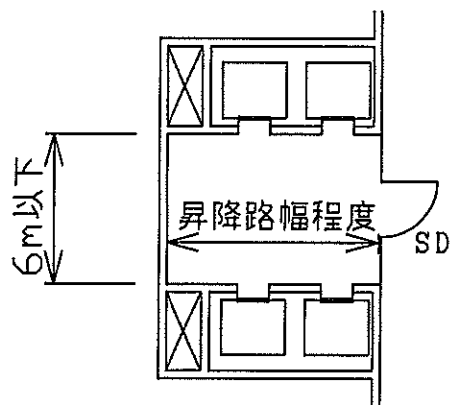
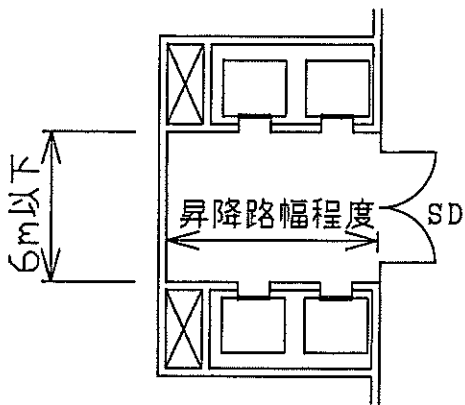
設置場所(1)-3乗降ロビ-を設ける場合(エレベータ-一列。防火設備両側)



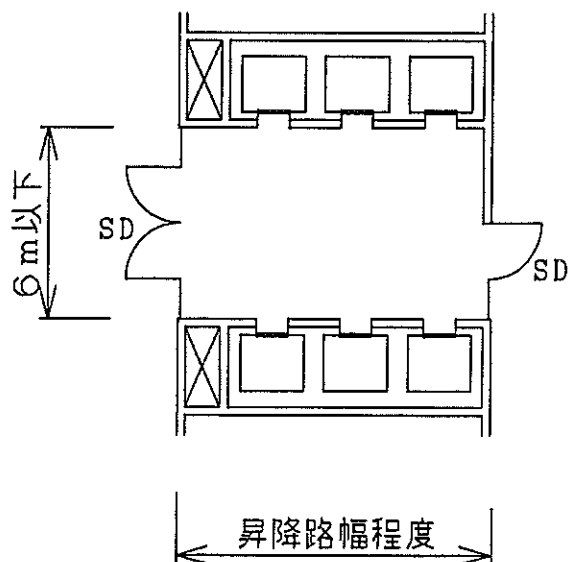
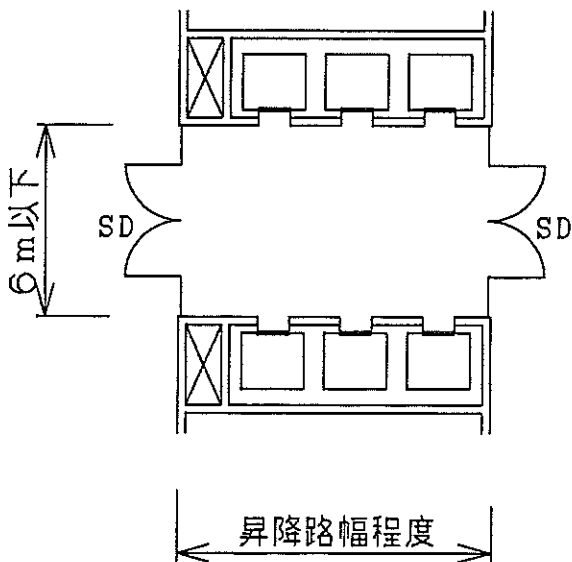
SD：耐熱板ガラス入り鋼製開き戸
 区画に面する壁、床：準耐火構造

図2 空間配置図

設置場所(1)-4 乗降ロビ-を設ける場合(エレベ-ター対面。防火設備片側)



設置場所(1)-5 乗降ロビ-を設ける場合(エレベ-ター対面。防火設備両側)



SD : 耐熱板ガラス入り鋼製開き戸
 区画に面する壁、床 : 準耐火構造

図3 空間配置図

3. 鋼製開き部の寸法：

申請仕様の耐熱板ガラス入鋼製開き戸部の申請仕様の組み合わせを表1に示す。

表1 申請仕様の組み合わせ

仕 様	扉		欄 間	袖 窓		備 考
	両開き	片開き		両 袖	片 袖	
Aタイプ	○	—	○	○	—	基本構造
Bタイプ	○	—	○	—	○	—
Cタイプ	○	—	○	—	—	—
Dタイプ	○	—	—	○	—	—
Eタイプ	○	—	—	—	○	—
Fタイプ	○	—	—	—	—	—
Gタイプ	—	○	○	○	—	基本構造
Hタイプ	—	○	○	—	○	—
Iタイプ	—	○	○	—	—	—
Jタイプ	—	○	—	○	—	—
Kタイプ	—	○	—	—	○	—
Lタイプ	—	○	—	—	—	—

申請仕様の耐熱板ガラス入鋼製開き戸部の寸法を表2～5に、閉鎖機構の仕様を表6に示す。

表2 申請仕様（A～Cタイプ）の寸法

項 目	申 請 仕 様		
	Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ
戸枠幅 (WW)	1160～5160mm	1060～3620mm	880～2080mm
開口幅 (W)	1110～5110mm	1010～3555mm	800～2000mm
扉開口幅 (TW)	800～2000mm	800～2000mm	800～2000mm
扉幅 (先開き) (DW1)	509～1009mm	509～1009mm	509～1009mm
扉幅 (後開き) (DW2)	309～1009mm	309～1009mm	309～1009mm
扉窓開口幅 (先開き) (GW1)	60～809mm	60～809mm	60～809mm
扉窓開口幅 (後開き) (GW2)	60～809mm	60～809mm	60～809mm
欄間開口幅 (RW)	800～2000mm	800～2000mm	800～2000mm
袖開口幅 (SW)	100～1500mm	100～1500mm	—
戸枠高さ (HH)	820～4020mm	820～4020mm	820～4020mm
開口高さ (H)	755～3970mm	755～3970mm	755～3970mm
扉開口高さ (TH)	600～2400mm	600～2400mm	600～2400mm
扉高さ (DH)	603～2403mm	603～2403mm	603～2403mm
扉窓開口高さ (GH)	300～2133mm	300～2133mm	300～2133mm
欄間開口高さ (RH)	100～1500mm	100～1500mm	100～1500mm
袖開口高さ (SH)	600～2415mm	600～2415mm	—
ガラス厚さ (gt)	5～12mm	5～12mm	5～12mm
扉厚さ (dt)	45mm以上	45mm以上	45mm以上
枠見込み寸法 (w)	100mm以上	100mm以上	100mm以上
周壁部の仕様	(下部)	湿式工法*1	
	(三方)	湿式工法*1又は乾式工法*2	

(注) *1 湿式工法：セメントモルタル等（以下、モルタル等という。）

*2 乾式工法：繊維混入けい酸カルシウム板厚さ25mm又は厚さ12mm 2枚張等（以下、ボード張等という。）

表3 申請仕様 (D~Fタイプ) の寸法

項 目	申 請 仕 様		
	Dタイプ	Eタイプ	Fタイプ
戸枠幅 (WW)	1160~5160mm	1060~3620mm	880~2080mm
開口幅 (W)	1110~5110mm	1010~3555mm	800~2000mm
扉開口幅 (TW)	800~2000mm	800~2000mm	800~2000mm
扉幅 (先開き) (DW1)	509~1009mm	509~1009mm	509~1009mm
扉幅 (後開き) (DW2)	309~1009mm	309~1009mm	309~1009mm
扉窓開口幅 (先開き) (GW1)	60~809mm	60~809mm	60~809mm
扉窓開口幅 (後開き) (GW2)	60~809mm	60~809mm	60~809mm
袖開口幅 (SW)	100~1500mm	100~1500mm	—
戸枠高さ (HH)	665~2465mm	665~2465mm	665~2465mm
開口高さ (H)	600~2400mm	600~2400mm	600~2400mm
扉開口高さ (TH)	600~2400mm	600~2400mm	600~2400mm
扉高さ (DH)	603~2403mm	603~2403mm	603~2403mm
扉窓開口高さ (GH)	300~2133mm	300~2133mm	300~2133mm
袖開口高さ (SH)	600~2415mm	600~2415mm	—
ガラス厚さ (gt)	5~12mm	5~12mm	5~12mm
扉厚さ (dt)	45mm以上	45mm以上	45mm以上
枠見込み寸法 (w)	100mm以上	100mm以上	100mm以上
周壁部の仕様	(下部)	湿式工法*1	
	(三方)	湿式工法*1又は乾式工法*2	

(注) *1 湿式工法：モルタル等

*2 乾式工法：ボード張等

表4 申請仕様 (G~Iタイプ) の寸法

項 目	申 請 仕 様		
	Gタイプ	Hタイプ	Iタイプ
戸枠幅 (WW)	760~4160mm	660~2620mm	480~1080mm
開口幅 (W)	710~4110mm	710~2555mm	400~1000mm
扉開口幅 (TW)	400~1000mm	400~1000mm	400~1000mm
扉幅 (DW1)	423~1023mm	423~1023mm	423~1023mm
扉窓開口幅 (GW1)	60~823mm	60~823mm	60~823mm
欄間開口幅 (RW)	400~1000mm	400~1000mm	400~1000mm
袖開口幅 (SW)	100~1500mm	100~1500mm	—
戸枠高さ (HH)	820~4020mm	820~4020mm	820~4020mm
開口高さ (H)	755~3970mm	755~4020mm	755~4020mm
扉開口高さ (TH)	600~2400mm	600~2400mm	600~2400mm
扉高さ (DH)	603~2403mm	603~2403mm	603~2403mm
扉窓開口高さ (GH)	300~2133mm	300~2133mm	300~2133mm
欄間開口高さ (RH)	100~1500mm	100~1500mm	100~1500mm
袖開口高さ (SH)	600~2415mm	600~2415mm	—
ガラス厚さ (gt)	5~12mm	5~12mm	5~12mm
扉厚さ (dt)	45mm以上	45mm以上	45mm以上
枠見込み寸法 (w)	100mm以上	100mm以上	100mm以上
周壁部の仕様	(下部)	湿式工法*1	
	(三方)	湿式工法*1又は乾式工法*2	

(注) *1 湿式工法：モルタル等

*2 乾式工法：ボード張等

表5 申請仕様（J～Lタイプ）の寸法

項 目	申 請 仕 様		
	Jタイプ	Kタイプ	Lタイプ
戸枠幅 (WW)	760～4160mm	660～2620mm	480～1080mm
開口幅 (W)	710～4110mm	710～2555mm	400～1000mm
扉開口幅 (TW)	400～1000mm	400～1000mm	400～1000mm
扉幅 (DW1)	423～1023mm	423～1023mm	423～1023mm
扉窓開口幅 (GW1)	60～823mm	60～823mm	60～823mm
袖開口幅 (SW)	100～1500mm	100～1500mm	—
戸枠高さ (HH)	665～2465mm	665～2465mm	665～2465mm
開口高さ (H)	600～2415mm	600～2415mm	600～2415mm
扉開口高さ (TH)	600～2400mm	600～2400mm	600～2400mm
扉高さ (DH)	603～2403mm	603～2403mm	603～2403mm
扉窓開口高さ (GH)	300～2133mm	300～2133mm	300～2133mm
袖開口高さ (SH)	600～2415mm	600～2415mm	—
ガラス厚さ (gt)	5～12mm	5～12mm	5～12mm
扉厚さ (dt)	45mm以上	45mm以上	45mm以上
枠見込み寸法 (w)	100mm以上	100mm以上	100mm以上
周壁部の仕様	(下部)	湿式工法* ¹	
	(三方)	湿式工法* ¹ 又は乾式工法* ²	

(注) *1 湿式工法：モルタル等

*2 乾式工法：ボード張等

表6 閉鎖機構の仕様

扉幅 DW	扉高さ DH	ドア質量	閉鎖角速度	閉鎖金物 設定トルク
309～772mm	1803～2403mm	31kg以下	0.196 1/s以下	20.58 N・m以下
773～923mm	1803～2403mm	89kg以下	0.503 1/s以下	73.5 N・m以下
924～1023mm	1803～2403mm	103kg以下	0.410 1/s以下	73.5 N・m以下

4. 鋼製開き戸部の主構成材料：

申請仕様の耐熱板ガラス入鋼製開き戸部の主構成材料を表7に示す。

表7 申請仕様の主構成材料

項 目	申 請 仕 様
上枠、下枠、たて枠、無目、方立、押縁、たて骨、下骨	溶融亜鉛めっき鋼板 (SGHC) JIS G 3302、厚さ：1.6mm 又は、冷間圧延ステンレス鋼板 (SUS304) JIS G 4305 厚さ：1.5mm
力骨	溶融亜鉛めっき鋼板 (SGHC) JIS G 3302、厚さ：2.3mm
くつずり	冷間圧延ステンレス鋼板 (SUS304) JIS G 4305 厚さ：2.0mm
気密材	建築用ガスケット (シリコーンゴム) JIS A 5756
シーリング材	建築用シーリング材 (シリコーン系) JIS A 5758
ガラス	①又は②の耐熱板ガラス ①酸化けい素系ガラス 厚さ：5.0mm又は8.0mm 熱膨張係数： $-0.3\text{mm} \times 10^{-6} / ^\circ\text{C}$ (30～750℃) 密度： $2.5\text{g} / \text{cm}^3$ 面内許容応力： $25\text{N} / \text{mm}^2$ ②ソーダ石灰系ガラス 厚さ：8.0mm、10.0mm又は12.0mm 熱膨張係数： $8.5\text{mm} \times 10^{-6} / ^\circ\text{C}$ (常温～350℃) 密度： $2.5\text{g} / \text{cm}^3$ 面内許容応力： $210\text{N} / \text{mm}^2$

5. 鋼製開き戸部の副構成材料：

申請仕様の耐熱板ガラス入鋼製開き戸部の副構成材料を表8に示す。

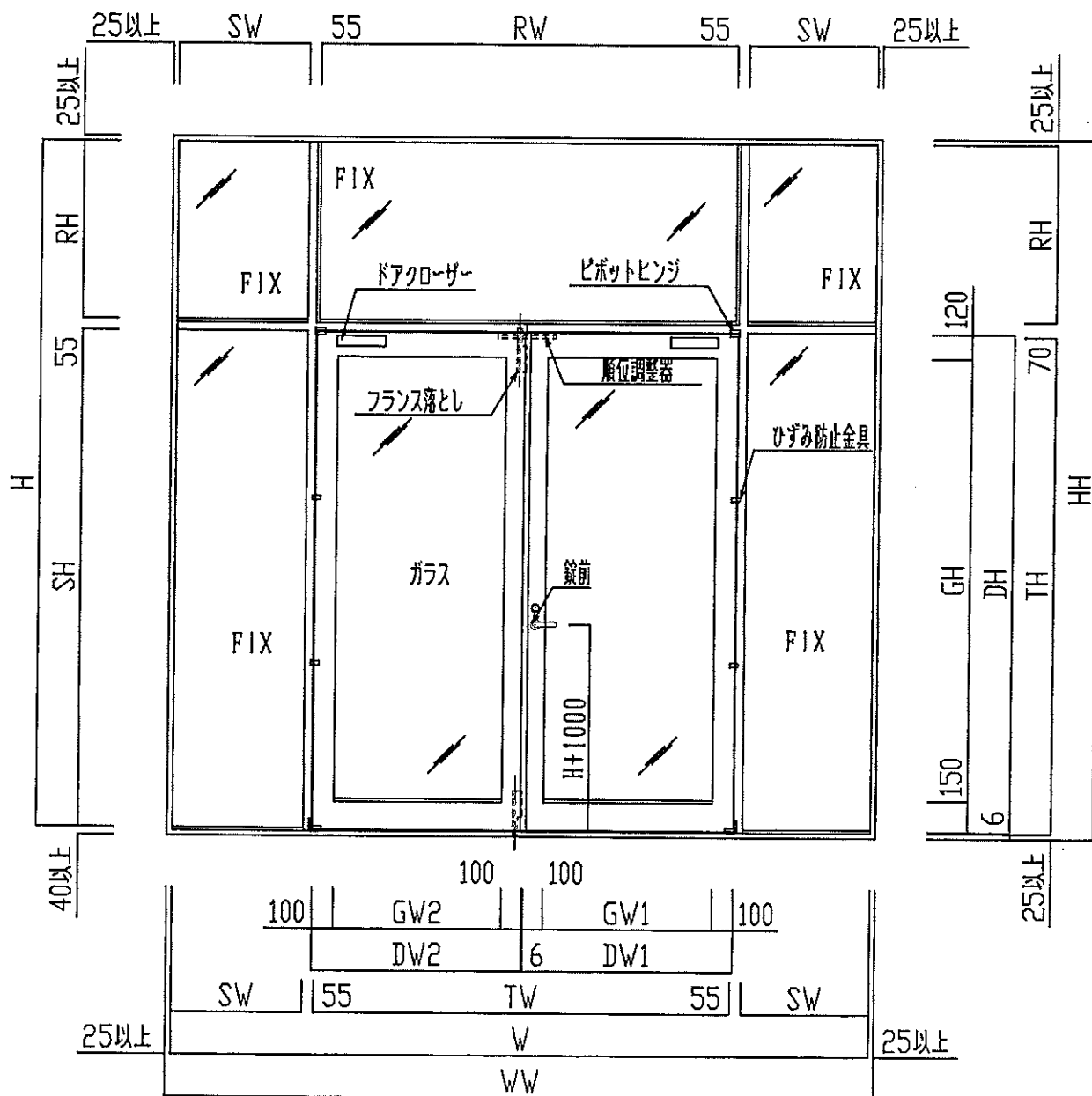
表8 申請仕様の副構成材料

項目	申請仕様
ドアクローザー	アルミニウム合金ダイカスト
ピボットヒンジ	カバー：ステンレス製 本体：スチール鍛造
錠前・ハンドル	ステンレス製 自動ラッチ式（レバーハンドル）
ひずみ防止金具	鋼板製 寸法：φ19mm×15mm 取付間隔：802mm以下
フランス落とし	ステンレス製
順位調整器	ステンレス製 露出型順位調整器
アンカー	溶融亜鉛めっき鋼板 厚さ：2.3mm 間隔：上下 400mm以下、たて 500mm以下
小ねじ	ステンレス製 寸法：φ4mm×20mm以上 間隔：250mm以下
セッティングブロック	繊維混入けい酸カルシウム板 寸法：欄間、袖部 12mm×15mm×50mm 扉窓部 8mm×12mm×50mm

6. 申請仕様の構造説明図：

申請仕様の網入板ガラス入鋼製開き戸部構造説明図を図4～図53に示す。

単位 mm



室内側姿図 (Aタイプ)

図4 構造説明図